

令和6年度 学校経営計画書

岡山県立倉敷南高等学校

1 本校のミッション（使命、存在意義）

グローバル化に対応した学びを推進し、幅広い知識と教養を培う普通科高校として、個に応じた指導や、社会と自分の生き方を関連づけて考え、国際的な視野を広げる教育活動を通して、グローバル社会で活躍し、その発展に貢献する人材の育成を目指す。

2 学校教育目標

「自律・友愛・進取」の精神を実践し、グローバル社会で貢献・活躍できる人を育てる

3 現状分析

- | |
|---|
| ○「進学重視型単位制」を活かし、生徒の学力伸長を図る少人数・習熟度別授業など個に応じた教育が行われている。 |
| ○生徒の進路実現を図り、県下有数の国公立大学及び私立大学の合格実績を持つ。 |
| ○地域と連携した学習活動、海外姉妹校交流を中心としたグローバル活動に積極的である。 |
| ○倉敷市街地のすぐ南に位置し、教育環境・自然環境にも恵まれている。 |
| ○保護者、同窓生、地域が協力的で、学校の教育活動を支援する気風がある。 |
| ●素直で真面目な生徒が多いが、やや安定志向で受動的なところがある。 |
| ●難関大学・学部にも果敢にチャレンジする高い志を醸成する必要がある。 |
| ●中高一貫校、私立特進コース等に対抗できる本校の魅力を打ち出す必要がある。 |
| ●業務適正化・負担軽減を進め、教職員の心身の健康維持を図る必要がある。 |

4 目指す学校像

【実現したい学校の姿】（令和3年度策定）

生徒一人一人が生き生きと学び、能力を最大限に伸ばす「魅力ある進学校」

- 1 カリキュラムマネジメントを進め、探究でつながる学びで未来創造力を育む。
- 2 個に応じた多様な学習指導を進化させ、個々の学力を最大限に伸ばす。
- 3 高い志を育む、系統的なキャリア教育計画に基づいた進路指導が充実している。
- 4 本物から学ぶ体験を通して、地域を考察させ、グローバルな視野を育成する。
- 5 文武両道を実践し、生徒一人一人の自律性と豊かなつながりを育む。
- 6 充実した高校生活を送れる、安心・安全で快適な学習環境がある。
- 7 学校から地域、地域から学校へと、双方向に開かれた学校が実現している。
- 8 教職員が協働して取り組める組織があり、PDCA サイクルが機能している。

5 令和6年度の重点目標

◎「自主自律を貫きながら高め合う生徒」の育成

- （1）学力向上と進路実現
- （2）高い人間力の育成
- （3）開かれた学校づくりの推進
- （4）教員のウェルビーイングの向上

の4つを柱に取り組む

6 具体的な取り組み

(1) 学力向上と進路実現

① 教科指導と生徒指導の 一体化	○成功体験の蓄積と自己理解の深化を図る授業づくり ○「教える」「支える」「見守る」3要素のバランスがとれた授業づくり ○夢の実現に向けて自走する学習習慣の確立 ○少人数講座・習熟度別授業のより効果的な運用の研究
② 進路実現につながる キャリア教育プログラム	○高い志を抱き、高めあう集団の形成 ○自律協働型学習者の育成 ○進路探究と課題探究の体系的なプログラムの拡充
③ 学力のすそ野づくり (非認知能力の育成)	○総合的な探究の時間の充実 ○課題解決能力、プレゼン力等を育む機会の充実 ○大学や地域と連携したキャリア教育の充実

(2) 高い人間力の育成

①自己指導能力を高める生徒 指導	○生徒が自己決定・自己選択する場の提供 ○対話力を高める集団づくり ○校内外の組織的な取組を可能にする体制づくり
②国際感覚を養うグローバル 活動	○国際理解・国際交流の機会の充実と体系化 ○多様性を受容する姿勢の育成（教科横断的に） ○グローバル活動をきっかけにした意欲的な英語学習
③人権意識や規範意識、公共心 等の育成	○人権に配慮し、いじめのない明るい学校生活を支援 ○主権者教育の推進 ○校内や学校周辺の環境美化活動の推進

(3) 開かれた学校づくりの推進

①信頼関係を築くための情報 共有	○連携強化のための中学校・塾訪問の実施 ○夏季・秋季オープンスクール、保護者対象説明会の充実 ○ホームページにおける持続的な情報発信
②保護者・地域・関係機関等と の連携強化	○保護者との信頼関係の構築 ○課題研究・講演会等における外部人材・組織の活用 ○社会貢献活動の推進

(4) 教員のウェルビーイングの向上

①効率的な学校運営	○校務のDX化の研究 ○DXハイスクールに伴うICT環境の更なる充実 ○分掌業務の精選・効率化（課の再編も含む） ○業務の平準化
②協働的な教職員組織	○職場の心理的安全性の確保 ○「チーム倉敷南」として、課や年次の連携強化 ○丁寧な情報共有と助け合う風土の醸成